



くらしに
憲法をいかそう

日本共産党

城里町議会議員

ふじさく 芙美子

プロフィール

- 1952年 福島県富岡町生まれ ●1971年 福島県立富岡高校卒
- 1974年 茨城県立土浦医師会准看護学院卒 ●1978年 茨城県立看護専門学校卒
- 1975年 水戸協同病院勤務 ●1984年 水戸済生会総合病院勤務
- 2008年 石島整形外科病院勤務 ●2014年3月 城里町議会議員

新しさと

2018年号外 日本共産党の見解をお知らせします
発行：日本共産党城里町後援会
〒311-4302 城里町那珂西1546-3 電話・ファクス 029-288-7648



粘り強くとりくむ人

ふじさく芙美子さんに期待します

ふじさく芙美子さんとは看護学生時代からのつきあいです。卒業後は同じ病棟で働くことはありませんでしたが、院内の委員会やいろいろな会合でいっしょに議論があった仲間でした。

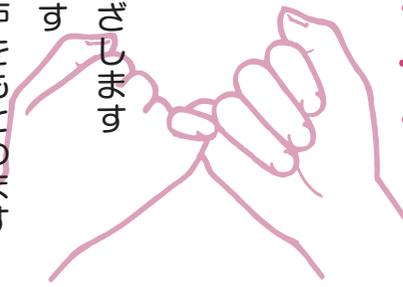
芙美子さんはどんなに忙しくても疑問をもったことはきちんと調べ勉強していました。納得するまで追求し、何事にも粘り強く取り組んでいます。

それが廃校になった備品の新庁舎での再利用や、甲状腺エコー検査の実施につながったのだと思います。これを4年間で終わらせるわけにはいきません。さらなるご活躍を期待します。

石塚 小林文子さん

ふじさく芙美子のおやくそく

- 町民の声を市政に届けます
- 議会のもようをお知らせします
- 国保税の値上げをやめさせます
- 健康診査の拡充につとめます
- お年寄りが生き生きくららせる町をめざします
- 甲状腺エコー検査の継続をもとめます
- 東海第二原発の再稼働に反対し、廃炉をもとめます



後援会	おなまえ
入会申込書	おところ

町民と議会の風通しをよくする

日本共産党 城里町議会議員

ふじさく 芙美子

医療者としての経験をいかして

検診の継続・診療所の建て替え実現

桂公民館での健康診査が廃止されようとしたとき、藤咲議員は「それでは地元が困る」と異をとなえ地元での検診を継続させました。長いあいだ見通しがたたなかった七会診療所の建て替えでは、藤咲議員の国にたいする交渉が実を結びました。「ありがたい」と喜ばれています。



藤咲議員は、子どもの放射能被害が心配だどくり返し甲状腺検査の実施を迫り実現しました。実施後は、その結果の公表をもとめました。

「ふるさとを返せー」 原発事故はゆるせない

藤咲芙美子議員の生家は福島県富岡町。福島原発から9キロです。3年前に解体されました。福島第一原発事故によって家族はバラバラです。

藤咲議員は、子どもの放射能被害が心配だどくり返し甲状腺検査の実施を迫り実現しました。実施後は、その結果の公表をもとめました。

すべての議会で一般質問

すべての議会で一般質問をおこない、町民のくらし、福祉向上に力を尽くしてきました。その内容は「新しろさと」にて全町民にお知らせしました。「議会が身近になった」と喜ばれています。



いいものは、いい だめなものは、ダメ

この間、城里町政が新聞紙上で話題になりました。議会がほんらのチェック機能を果たしたにせよ、問われるのは各議員がどのような判断基準を持っていたかです。

藤咲議員は、重要案件についてはきちんと反対討論で理由を述べています。いいものは、いい。だめなものは、ダメという立場です。

女性の自立をめざって

幼くして父を亡くし、母の手ひとつで育てられた芙美子さんは、高校を卒業して就職した自動車部品工場をやめ、女性が手に職をもって自立することを目ざし、叔母をたよって土浦市の個人病院に準看護習いとして入りました。



看護師時代

看護の勉強をしよう

ある夜、芙美子さんの目の前で患者さんが急変しました。看護の体験も知識もない芙美子さんは茫然とするばかりです。とっさに駆けつけた医師の必死な救命行為の姿に、命の重さ、大事さを学びました。そして、「本気で看護の勉強をしよう」と決意しました。

その後、水戸協同病院で働きながら県立看護学校に学びました。



安保法制反対の集会で

患者さんや家族と 心かよわせ40年

それから40年、芙美子さんは持ち前の明るさをいかして患者さんや家族と心を通いあえる看護を実践してきました。「笑顔がいいね」「声を聞くだけで元気になれる」との評判でした。患者さんや家族からいただいた感謝の手紙は、いまでも芙美子さんの大事な宝物です。

いま、がんばり続け

男性ばかりの議会で困難もありますが、この4年間で、芙美子さんは女性ならではの視点と感性で粘り強くがんばってきました。

いま、安倍自公政権による福祉後退が地方に押しつけられていきます。経済格差もひろがっています。そういうとき、住民の命とくらしを守る地方自治体の役割は重要です。これからも精いっぱいがんばりたいと決意をあらたにしています。

(「日本共産党城里町後援会ニュース」より)